

令和 6年 4月 30日

(臨床研究に関する公開情報)

国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として、さまざまな臨床研究を行なっております。今回、下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画及びその方法についてお知りになりたい場合、研究において検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究のために患者さまの負担や危険が増えることはございません。また、ご了解できなかった場合、患者さまにとって不利益になることは一切ございません。

[研究課題名] 左側峡部アブレーション後慢性期に認められる心外膜側伝導再開の評価

[研究責任者] 循環器内科 医長 川口直彦

[研究の概要] 心房細動や心房頻拍といった、心房に原因がある不整脈を総称して心房性不整脈と呼称します。現在、これらの心房性不整脈に対する治療法としてカテーテルアブレーション治療が広く行われています。この治療法は心臓内の電気信号の流れを把握した上で、適切な領域を種々のエネルギー源を用いて焼灼し（やけどを作り）、不整脈を起こしにくくする治療法です。その治療法のうち、左側峡部アブレーション（左下肺静脈と僧帽弁輪の間の領域の伝導を遮断する治療）は難治性心房性不整脈にしばしば行われます。しかし、治療の難易度は高く、術後に心房頻拍等の別の不整脈が出現してしまう場合があります。これには心外膜側の伝導再開が関与することがあると考えられますが、その頻度・臨床的、心臓電気生理学的特徴は未解明です。これらの不整脈を確実に診断し治療するために左側峡部付近の電気信号の流れを理解することは、極めて重要です。当院では、その領域の電気信号をより詳細に記録するために、心外膜側伝導を反映するマーシャル静脈と呼ばれる血管に細いカテーテルを挿入しています。そこで、当科ではこのようにして詳細に記録した電気信号に基づき、左側峡部アブレーションを行った場合の、心外膜側伝導の評価と治療の有効性を検討することといたしました。

[研究の方法]

● 対象となる患者さま

2016年4月1日から2025年3月31日までに当院において心房性不整脈のカテーテルアブレーションを行なった患者さま

● 利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、既往歴、心臓超音波検査結果、採血検査結果、カテーテルアブレーション中に得られた心臓電気生理検査所見、治療後の外来にて施行された心電図検査結果などを収集し、解析させていただきます。

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さまを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 循環器センター

電話 046-822-2710（代表） FAX 046-822-9139

受付時間 平日 9時-17時

*お問い合わせ内容により、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことをご了承ください